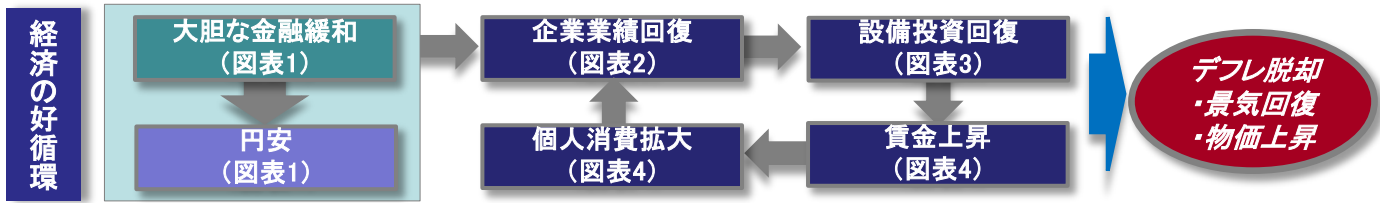


～ 日本経済の動向（経済の好循環）～

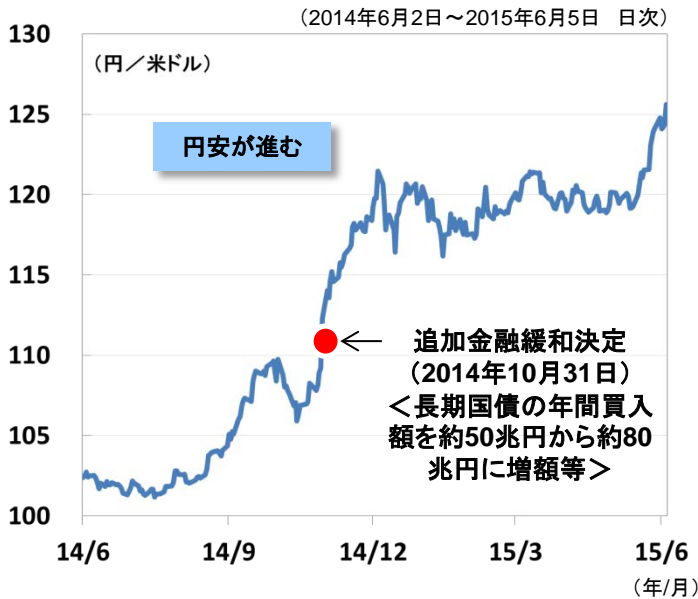
勤労者世帯の物価上昇による目減り分を除いた実質賃金指数が、今年4月に前年同月比で2年ぶりにプラスとなる等、日本経済はアベノミクスが掲げる“経済の好循環”に向かって動き始めているように思われます。

今年1～3月期の実質国内総生産（GDP）改定値（前期比・年率）は、企業の設備投資が大きく伸びたこと等により、速報値の2.4%成長から3.9%成長に上方修正されました。

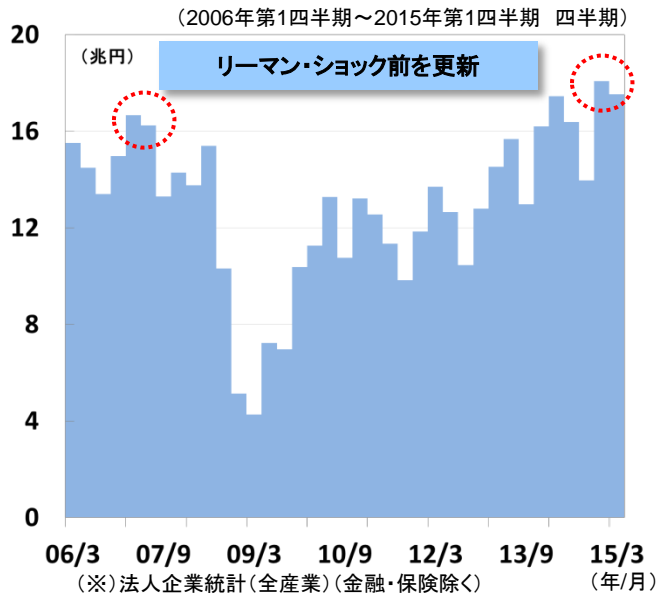
GDPの約6割を構成する民間消費は、昨年4月の消費増税により一時落ち込んでいました。企業の賃上げの動き等を受けて、今後消費者の購買意欲が高まるのか注目されそうです。



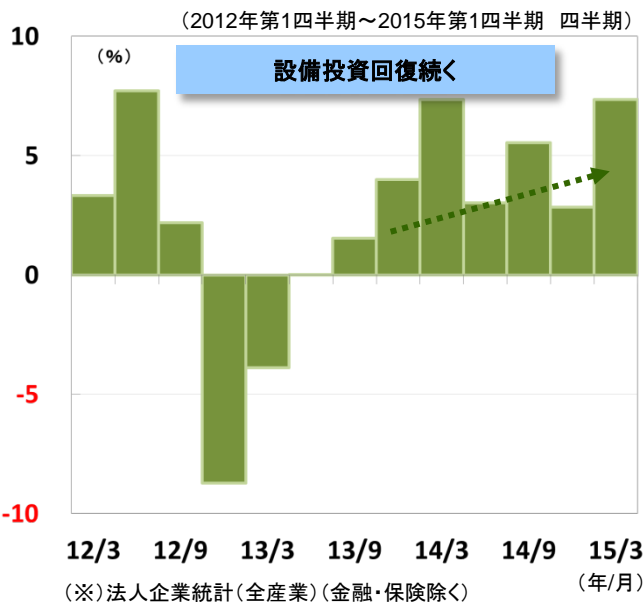
図表1: 円・米ドル相場推移



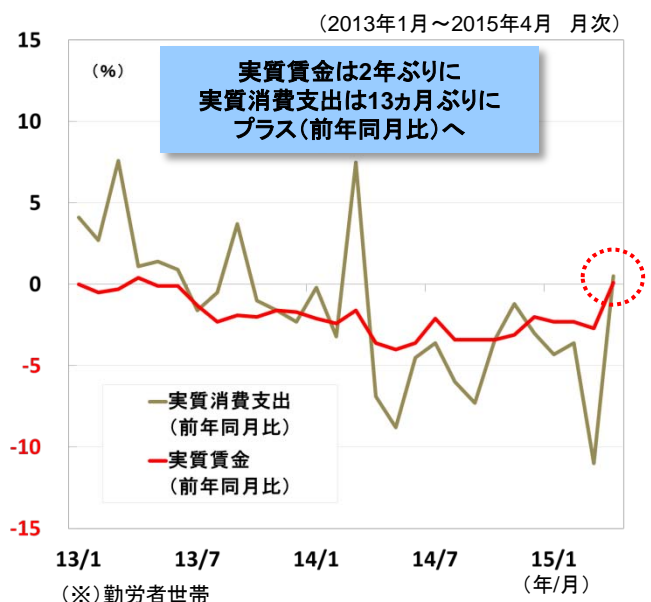
図表2: 経常利益推移



図表3: 設備投資動向 (前年同期比)



図表4: 実質賃金と実質消費支出推移



※上記図表はブルームバーグデータを基に、ニッセイアセットマネジメントが作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 (審査確認番号H27-TB30)